



フランス便り

2024年05月



フランスでの生活で、やっといろいろなことに対応できるようになってきました。フランスに来てから自転車で移動する機会が増え、trottinette(電動キックボード)という乗り物をよく見かけることに気づいたので、今回はそれについて書きたいと思います。

Trottinette

Trottinette とは、電動のキックボードのことで自転車よりもスピードが出るだけでなく、自動で進む乗り物です。自転車と違い漕ぐ必要がないため楽ですが、タイヤが小さいため、段差の多い場所で乗るには不向きです。私はこの乗り物を日本で見かけたことはありませんが、使うことは出来るそうです。自転車と同様、街中の移動や少し遠出をする際にはとても便利だと思います。又自転車と違いバッテリーで動くため、充電さえあれば自転車よりも遠くへ行くことが可能です。

一方で trottinette を改造し、より早い速度が出るようにしたりする人がいたり、免許がいらないため年齢に達していなくても乗る人がいます。

○ルール○

- ・基本は歩道を走ることはできない。
- 例外 自転車道があれば6キロ未満での走行は可能。
- ・最高速度制限50キロの道路は走ることが出来る。
- ・時速25キロくらいです。
- ・乗り捨て可能。
- ・ロック解除に1ユーロ、1分毎に0.15ユーロ。(借りる場合)
- ・14歳以上でないと使用できない。



○過去の事例○

記事1

パリの街中を80kmで走る

2019年にパリの街中を時速80kmで走る trottinette の動画を YouTuber が公開した。彼らは街中を動画を回しながら走行し、ヘルメットはしているものの車よりはるかに速いスピードで走行した。また、車と車の間を縫って走ったり、急に車の前に飛び出てきたりという行動も見られた。公開している動画では、赤信号で警察官とレースをするといった表記があった。この動画のコメント欄には数多くの批判の声が投稿されている。

記事2

リヨンの路上で70kmを出す

2023年7月12日、マフラーで顔を隠した人物が trottinette で高速走行していたところを警察が目撃した。警察が警告を鳴らす中、逃亡者は大学に向かい、その最中に時速を70kmまで上昇させたのを警察が確認した。最終的に逃亡者は転倒し、捕まった。

この記事のほかにも、死亡事故や罰金など様々な記事がネット上には上がっている。

○利点○

- ・自転車と違い漕がなくても進むうえ、ある程度の速度が出るため移動が楽である。
- ・軽く、折りたたむことの出来る物もあるため、室内に持ち込むことができ、収納も簡単に行うことが出来る。

○欠点○

- ・自転車と違いコンパクトなため車の視界に入りづらく巻き込み事故が起きやすい。
- ・充電製のため、充電がなくなると走行出来なくなるうえ、充電に時間がかかる。

その他交通

基本的な規則は日本と同じですが、車は左ハンドルで高速道路では 130 kmまで出すことが出来ます。また、飲酒運転の規則も違い、グラス一杯程度までは飲酒しても良いとされています。フランスでは、バス専用道路、バス専用信号がしっかりある他、円形交差点がよく見られます。日本の様な駐車場は少なく、家の前や道の端に駐車スペースがあります。

また、自転車にも少し違いがあり、自転車は基本、写真の様な場所に止めます。フランスの自転車には、ほとんど鍵が付いていない為、ほとんどの人がチェーンを持ち歩いています。自転車置き場は日本で想像される物とは違い、屋根すらない場所がほとんどです。更に、この自転車置き場がないところでは、道路表示板などに括りつけています。



まとめ

ストラスブールでは車も多いですが、自転車やtrottinette を使っている人をよく見かけるのは、移動手段として便利だからなのかなと思いました。フランス人の多くは雨が降っていても関係なく、自転車や trottinette で出かけていくのでそこに驚きました。これは、傘を持つという習慣があまりなじんでいない国だからこその文化なのかなと感じました。今回調べて、日本でも trottinette が使われていることを初めて知り、フランスの記事のようなことが起こらないでほしいと思いました。